

令和3年10月7日

中学校3年生生徒の保護者の皆様

苫小牧市立光洋中学校長 大橋 祐之

令和3年度全国学力・学習状況調査の調査結果について

秋冷の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御清栄のことと拝察申し上げます。

また、日頃から本校の教育活動に対しまして、御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。

さて、本年5月27日（木）に実施しました全国学力・学習状況調査の結果が本年8月に北海道教育委員会から公表され、苫小牧市でも9月に公表されました。

本調査は、学習指導要領の定着状況の把握、すなわち生徒が学習内容をどの程度理解しているかを把握することとともに、調査結果の分析から生徒への指導の充実や学習状況の改善等を図ることを目的としています。苫小牧市は、市全体の平均正答数及び平均正答率を公表することとしておりますが、各学校の平均正答数及び平均正答率の公表については、本調査の目的と整合が図られないこと、学校の序列化を回避することが困難であることなどの理由から、行っておりません。

これを踏まえて、本校の結果と考察をまとめましたので、次のとおりお知らせします。

また、個人票（結果）につきましても、本日、配付しましたので御覧願います。

なお、「令和3年度全国学力・学習状況調査の調査結果」につきましては、苫小牧市立光洋中学校ホームページ（<https://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/gakko/koyo/>）に掲載しております。

記

1 調査の概要

(1) 実施日

令和3年5月27日（木）

(2) 調査対象

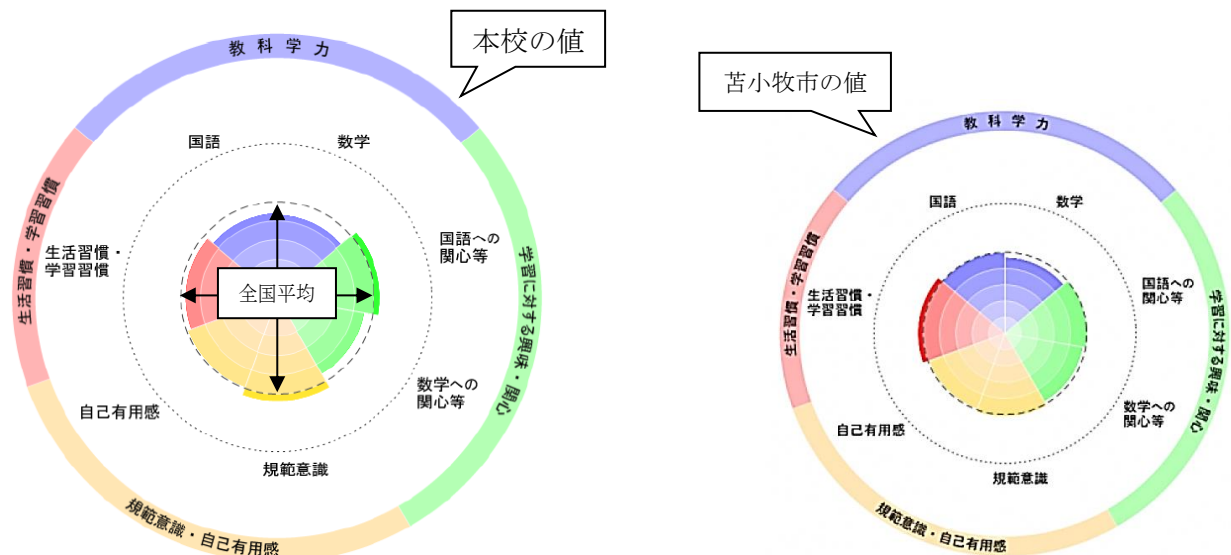
中学校第3学年

(3) 調査事項等

- ① 教科に関する調査は、国語、数学の2教科が出題されました。
- ② 生活習慣、学習環境等に関する生徒質問紙調査が実施されました。
- ③ 学校に対して、指導方法や教育条件の整備等に関する質問紙調査が実施されました。

2 本校の結果と考察

(1) 全国平均と本校の比較



(2) 国語科

- ・平均正答率は、全国平均より若干低い。
- ・「話合いの話題や方向を捉える」設問において、平均正答率が全国平均を上回っている。
- ・「場面の展開、登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解する」設問において、平均正答率が全国平均を上回っている。
- ・「文脈に即して漢字を正しく読む」設問において、平均正答率が全国平均を上回っている。
- ・「書くこと」「読むこと」では、記述式問題の平均正答率が全国平均を下回っている。

(3) 数学科

- ・平均正答率は、全国平均より若干低い。
- ・「関数の意味を理解している」「相対度数の必要性と意味を理解している」の設問において、平均正答率が、全国平均とほぼ同等である。
- ・「目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる」「ヒストグラムからある階級の度数を読み取ることができる」の設問において、平均正答率が全国平均を下回っている。

(4) 生徒質問紙

○学校生活

- ・「中学校1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の設問に対して、80%弱の生徒が「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」を選んでいきます。
- ・「自分には、よいところがあると思いますか」の設問に対して、70%以上の生徒が「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」を選んでいきます。
- ・「将来の夢や目標を持っていますか」の設問に対して、約75%の生徒が「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」を選んでいきます。

○家庭生活

- ・「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」の設問に対して、60%の生徒が「よくしている」「ときどきしている」を選んでいきます。
- ・「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」の設問に対して、約40%の生徒が「2時間以上行っている」を選んでいきます。

3 学校の今後の取組について

<授業における今後の学校の対策>

- 多くの文章に触れさせ、豊かな語彙力を身に付けさせるとともに、話の流れに即して適切に語句を用いる活動の充実を図ります。
- 自分の考えをもって話し合ったり、発表したりする機会を授業中に多く取り入れることで、話の組み立てを工夫したり、様々な表現によって相手の印象が変わることを体感したりする活動を行っていきます。
- 授業中、教科書の例題を丁寧に読み解かせることを心がけます。
- 授業の終末において、振り返りの時間を適切に位置付け、学習内容が定着するよう、再度問題に取り組ませる指導に努めます。
- 生徒の学習意欲を向上させるために、互いに教え合ったり、話し合ったりする活動を取り入れていきます。また、少人数や習熟度別指導の良さを生かすことで、きめ細かな指導をしていきます。

<学習全般に対する今後の学校の対策>

- 家庭との連携を深め、家庭でテレビやゲーム等に費やす時間のうち60分間を学習時間に変える「Change 60」を学校全体で推進し、家庭学習の習慣化に取り組みます。
- フォーサイト手帳を活用して、基本的な学習内容が定着するよう、自分で毎日少しずつ繰り返して学習を進めていけるよう支援していきます。